

明日に向かつて

ともに創る

大船渡市長 戸田公明

復興創生期間10年が過ぎて

まず始めに、先月中旬、市内全世帯にふるさと復興券を配布しましたが、添付されたあいさつ文の冒頭を「く感謝申し上げます。」とすべきところ、「く感謝申し下げます。」と誤りがありました。訂正するとともにお詫び申し上げます。

さて、東日本大震災から10年余り、国内外から多くの励ましと多大な支援を受けながら、市民の皆さんと一丸になって復興旧・復興に取り組んできた結果、おかげをもちまして市復興計画事業は終盤を迎えています。

ただし、以下の事業が残っていますので、早期完了を目指し、今までと同様に注力します。

- ・細浦地区【内水排水対策事業、避難路整備事業】
- ・赤崎地区【スポーツ交流ゾーン整備、防災学習センター整備、中赤崎地区道路新設改良事業（三陸鉄道ガード拡張ほか）】
- ・浦浜地区【産業用地整備事業（大規模トマト栽培施設用地

造成ほか）など

県の事業では、新県道、県管理漁港、防潮堤などにおいて引き続き工事が行われている箇所もありますが、令和3年度中には完了する予定です。

このような中、国では、岩手県および宮城県において、被災者支援を中心とした復興創生期間を5年間延長しました。

本市としても、被災者の生活・健康相談や見守り支援、災害公営住宅のコミュニティ形成支援、グリーンフケアなどについて引き続き取り組んでいきますので、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。

また、本市では大震災の教訓を後世に伝えるため、以下の3つの取り組みを行っています。

- ①東日本大震災記録誌の発行（平成27年7月発行）
- ②東日本大震災復興記録誌の発行（令和3年3月発行）
- ③防災学習ネットワークの整備（令和3年上半期完成予定）

特に東日本大震災記録誌に

つきましては、復興計画期間10年間の満了を意識しながら、数年前から編集を進めていたものです。

内容は、「東日本大震災からの復興の様子と教訓」や「復興の取り組み」などのテーマを、地区の取り組み、高台への移転、中心市街地の再生、コミュニティの再生と被災跡地利活用、新たな生業・活力の再生、ボランティア、派遣職員、復興の歩み、主要事業の概要、分野別の取り組み、復興の取り組みの成果、本市における復興事業の特色などの切り口から説明しているもので、内容が豊富です。

さらには、復興推進体制、復興に向けて本市がいただいた支援なども記されており、復興の記録と教訓を、今を生きる我々のみならず、将来世代にも伝承する役割を果たしています。

記録誌は、市内の図書館や各地区公民館、小中学校・高等学校、地区復興委員会・防災関連団体などのほか、全国の支援をいただいた自治体・関係機関・企業、防災関係機関などに配布しました。ホームページにも掲載していますので、ぜひ多くの皆さんに目を通していただきたいと思います。

大船渡市環境審議会の委員を募集します

市は、環境に関する計画や環境全般にわたり、市民の皆さんから広く意見などをいただくため、環境審議会の委員を募集します。

- ▷応募資格＝次に掲げる要件を全て満たす人
 - ・市内に在住、通勤または通学していること
 - ・良好な環境づくりに関心があること
 - ・令和3年7月1日時点で18歳以上であること
 - ・国や地方公共団体の議員でないこと
- ▷募集人数＝2人以内
- ▷任期＝7月1日～令和5年6月30日（2年間）
- ▷会議の開催＝年2回程度
- ▷報酬＝市の規定により報酬を支給
- ▷応募方法＝①住所、②氏名、③生年月日、④職業（勤務先または通学先）、⑤電話番号、⑥

地域活動やボランティア活動などの経験を明記し、⑦応募動機と⑧「大船渡市の環境」についてのコメントを記載の上、直接持参するか、封書、はがき、ファクスまたはEメールで応募ください。

- ※応募用紙は、市役所本庁、三陸支所、綾里・吉浜地域振興出張所に備え付けているほか、市のホームページからもダウンロードできます（任意の様式も可）。
- ▷選考方法＝書類審査により選考
- ▷応募締切日＝5月31日（月）必着
- ▷応募先・問い合わせ先＝市民環境課環境衛生係（☎内線124／FAX②13118）

【Eメール】ofu_simin@city.ofunato.iwate.jp

